

のびすく仙台 イベント報告



5/16 (水) ウェルカムサロン①

仙台で子育てを始めて1年以内の親子6組が参加。「子どもの遊び場」や「買い物をする場所」、「仙台の冬はどんな様子？」などが話題にあがり、情報交換をしながらおしゃべりを楽しみました。

初めは少し緊張ぎみだったママたちも次第に打ち解け、サロンが終了しても話が尽きない様子でした。

2回目はみんなで、宮城の郷土料理を作ります。

5/30 (水) 親子でおでかけ in 西公園

講師:佐々木 啓子さん(プレーリーダー)

前日は雨でしたが、当日は雨もあがりお散歩日和。たくさん自然を見つけることができました。子どもたちはヘビイチゴとりに夢中になったり、だんご虫に興味を示して触ったり、砂あそびを楽しんだり。お母さんたちはシロツメ草の花飾りを真剣な表情で作っていました。



「自然に触れる機会ができてよかった。」という感想がたくさんありました。

自然の中の遊びを発見することができ、親子で楽しめたようでした。

5/23 (水) グループ相談「ママのたな卸し」

講師:伊藤 仟佐子さん(のびすく若林館長)

子育てに真っ最中のお母さん、一歩立ち止って「私」自身のことを考えてみませんか?ということで、4組のお母さんたちが自分発見の時間を楽しみました。

“私は〇〇が好き” “私は〇〇ができる” を1人ひとりワークシートに書き出して発表。「私にできることってあったんだ」と改めて自分を見直すこと、自分を知ることができたという感想もありました。

講師からは、「子育てをしながらでもできることがたくさんあります。お母さん方には力があるんですよ。」という言葉頂きました。

6/9 (土) 手づくりおもちゃ「ロケットぱーん」

講師:マミーさん(おもちゃコンサルタントマスター)

紙コップにかわいい紙を貼って、コップの底にカラフルな細かい紙を一枚。さあ、出来上がり! 5・4・3・2・1、ゴー! 紙コップが飛ぶと子どもたちは大喜びで追いかけてました。パパとママの楽しそうに作る姿もありました。



マミーさんのイチオシのおもちゃです。ぜひお家でも作ってみてくださいね。

家族のかたち 「特別養子縁組編その2」

7年前の秋に鳴った一本の電話。「子どもが生まれました。迎えに来てください」

夫婦のハネムーンの終わり、ドタバタ育児の始まりでした。産みのお母さんの別れに思いを寄せながら、小さな命を震える手で抱いたあの日。青い空、小さい足、哺乳瓶にかぶりついてミルクを飲む口元、全部覚えています。長男は背中にスイッチがあり、『寝たな〜』と布団へおろすとすぐ起きて泣く、そんな赤ちゃんでした。

特別養子縁組は、産みの親による子育てが困難な場合に、育ての親が子の家族になる制度です。家庭裁判所が子の幸せのために必要であると認めることで成立。産みの親との関係が終わり、育ての親が一生涯通して唯一の親となります。

血のつながりがなくても、手をかけて心をかけていく日々が私たちが家族にしていきます。一緒にご飯を食べて、お外で遊んで、おんぶして、歌を歌って…。

子の寝顔に向かってつぶやきます。「生まれてきてくれてありがとう」

子どもの遊び場づくりをしている3児の母親
佐々木啓子(すず)

